



平成29年4月28日

各 位

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 上田 孝
(コード番号 7022 東証第1部)
問合せ先責任者 代表取締役専務執行役員 北川 治
(TEL 06-4803-6171)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成28年5月12日に公表しました平成29年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。また、併せて特別損失の計上につきましてお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,000	400	200	100	3.07
今回修正予想(B)	53,000	900	800	△ 2,400	△73.67
増減額(B-A)	1,000	500	600	△ 2,500	
増減率(%)	1.9	125.0	300.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	53,347	2,121	1,748	204	6.29

修正の理由

売上高は、造船事業・陸上事業での増収により前回予想を若干上回る見込みです。損益面では、新造船における原材料費の低減と、マリン・修繕船事業及びプラント事業の増益、また陸上事業で化粧品用機械製造の好調等が寄与したことにより営業利益は500百万円、経常利益は600百万円それぞれ増加する見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は別記の特別損失を計上した結果、前回予想より2,500百万円減少する見込みです。

2. 特別損失の計上

レジャー事業において、国内レジャー施設の営業終了の決定により、固定資産の減損損失1,185百万円、事業撤退損失引当金繰入額341百万円を特別損失に計上する見込みです。また、豪州観覧車事業の今後の収益性を見直し、固定資産の減損損失652百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、連結業績には影響ませんが、個別決算において上記国内レジャー施設の営業終了の決定に伴い、関係会社事業損失引当金繰入額896百万円、貸倒損失500百万円、関係会社株式評価損479百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、配当は期末配当として年5円を予定しており、変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上